

節分の豆まき「鬼はそと～」

豆まきの後は、お父さん鬼とお約束
小学校に行ったら友達たくさん作るよ

行事に親しみ、節分の豆まきを楽しんでもらおうと、園児のお父さんで構成する「どんぐりサークル」の3人が、赤鬼や青鬼に扮して3～5歳児の教室に「わあ～っ」と大きな声で突撃。鬼の迫力に泣き出す園児もいましたが、子どもたちは友達と協力しながら新聞紙で作った豆を懸命に投げて「鬼はそと～」と追い払っていました。

2月3日 | 河西幼稚園

公民館自主教室のつどい

参加者も鑑賞者もみんな楽しむ
日頃の練習・取り組みのお披露目会

市内各公民館で教養や生活文化の向上、技能の習得や仲間づくりなどを目的に楽しむ生涯学習の場である自主教室。展示部門では11教室の約330作品が展示され、舞台部門11教室、お茶席部門1教室が日頃の練習の成果を紹介しました。鑑賞に訪れた人は「綺麗な声だったよ」「すてきやったね」と出演した人に声をかけていました。

2月1日 | 市民ホール

MORIYAMAモルックフェスティバル

ぴったり50点を目指せ
老若男女がモルック体験を楽しむ

守山市の各総合型地域スポーツクラブや文化体育振興事業団で作る実行委員会の主催。初心者を含む約100人が参加しました。合計がちょうど50点となるようチームメイトと交代で木製の棒(モルック)を投げ合い、絶妙な一投をハイタッチで喜び家族の姿や、50点を超えてしまい、みなで頭を抱える友人同士の姿が見られました。

2月11日 | 市民体育館

マジックパパの親子で楽しむふしぎあそび

家族のコミュニケーション力アップ
パパの育児を後押しする講座

パパと子どものコミュニケーション力を高めてもらおうと開かれ、3回に分けて73組の親子が参加しました。このうち「マジックパパの handmade 入門」では、21組の親子が、大きな画面で講師の実演やタネ明かしを見ながら「スプーン曲げ」「カップ&ボール」など簡単な手品に挑戦。手品ができた親子も頑張った親子も、笑顔を咲かせていました。

2月7日 | 市民ホール

広報もりやまは下記施設に設置

市役所、各地区会館、JR守山駅(駅前総合案内所)、図書館、すこやかセンター、市内金融機関、市内郵便局、市内平和堂各店とアルプラザ栗東、市内セブンイレブン など

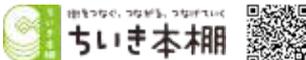
広報もりやまはスマートフォン・タブレットでも読めます



広報もりやま
PDF版



「マチイロ」アプリをインストール▲



「Sidebooks」アプリをインストールし、▲
「ちいき本棚」を選択

※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。
※アプリの閲覧中に広告が表示されますが、その内容に守山市は責任を負いません。



びわ湖放送
毎月第1・3金曜日
午後6時20分～6時25分放送中

●アートがつなぐ展覧会！
Moriyama 若手芸術家の作品展
3月6日(金)、20日(金・祝)



YouTube「守山市広報」で
過去の放送を視聴できます